

自衛隊の イラク派兵反対

1万人ものイラク国民を犠牲にした米軍の占領支援でなく、国連中心の復興支援、イラク国民への人道支援こそすべきです

政府・与党は、アメリカにいわれるままに、自衛隊をイラクに派兵し、さらに1兆円規模ともいわれる莫大なイラク戦争・占領費の負担をしようとしています。国連を無視して、アメリカが勝手にはじめた無法な戦争と軍事占領。いま世界中から批判されています。そのなかで、日本だけがアメリカいいなりの異常な姿勢をみせています。

「(アメリカの)論理は、(国連創設以来の)過去58年間、世界の平和と安全が依拠してきた原則への根本的挑戦だ」
(アナン国連事務総長)

アメリカにいわれて、なんと1兆円規模の戦争費用も負担へ！

そのお金はイラク国民に役立つのではなく、結局、米軍へ。わたしたちの税金を無法な戦争のために使わないで！

9月に始まった国連総会でも、各国首脳は、アメリカのイラク戦争をきびしく批判しました。戦争終結宣言(5月1日)以後でも、米軍死者は、200人にのぼるなど、イラク全土が戦闘地域です。イラク国民の犠牲者も増え続け、約1万人も殺されています。そこに自衛隊をアメリカ軍の支援のために派兵するなど、絶対に許せません。

小泉総理大臣殿。あなたがいう大量破壊兵器もありませんでした。アメリカいいなりに、無法な戦争を支持し、多くのイラクの人が犠牲になったことに胸が痛まないのでしょうか。(横浜市・主婦)



--	--